

比例区は働く者の一票一票をそして働く者の票を労働者党へ!

差別労働、長時間労働の「掃を！」

労働者党の基本的な二つの政策的立場を、まず明らかにします。

一つは、長時間労働、ブラック企業などに象徴される、搾取労働の即時廃止の要求です。

一つは、2千万人にも急増してきた非正規労働者や、低賃金や身分的不公平などに苦しむ女性労働者の間に広くはびこっている、差別労働の即時一掃の要求です。

こうした私たちの要求は、何か非現実的で、途方もないものに思われるかも知れませんが、事実上、安倍首相自身が、一昨年の秋、「働き方改革」を謳い、同一労働同一賃金の実現を宣言すると宣言した時に声を大にして主張し、公約したことにすぎません。

当時、安倍首相は、差別労働の廃止は「待たなしの重要課題」と言い、また、「この日本から非正規労働という言葉を一掃する」と大言壮語しました。

長時間の殺人的労働の一掃についても、「躊躇(ちゅうちよ)なし」なに行う」といえば公約しました。

これらの言葉は、長時間に及ぶ搾取労働や不当な差別労働を、最優先の課題とし、即時に、「躊躇なし」に行う」という、首相の労働者、勤労者への公約ではなかったでしょうか。

しかし首相は言うだけで、まじめに実現しようという意思はありません。消費増税の転用とバラまき政策を許すな

安倍政権は消費増税の使途変更と、乳幼児教育無償化や全世代型社会保障を謳い、財政再建や社会保障の充実にはさほど目を向けて、参院選勝利のために消費増税を勝手に流用するが、許されぬ。若い夫婦や女性労働者が望んでいることは、保育園の充実や待機乳幼児の一掃である。首相は保育料をタダにして全世代型社会保障というが、保育所の完備は社会保障の問題ではなく、むしろその反対の社会保障を支える人々を増やし、助けるための重要な成長政策である。貧しい男女の労働者が今緊急に必要としているものは、何よりも安心して働ける職場や人並みの賃金や充実した保育所であって、乳幼児教育無償化云々の「中産階級用のバラまきではない」。

●困難な介護問題の解決のために、「共同体原理」の採用を
我が労働者党は20年に、「介護の社会化」の掛け声とともに始まった介護政策は、それが力ネと貧しい労働者の賃労働を当てにしたものであったために、今や力ネの面でも働き手の面でも破産に直面していると結論し、そんな困難な、袋小路に落ち込んだ介護問題を解決するために、「共同体原理」を採用するように呼びかける。それには色々なやり方があるが、例えば1年のうち1ヶ月だけ介護の仕事をするというやり方や、人生のうち2、3年だけ介護に従事するという方法もある。韓国などでは、兵役でそんなやり方を採用しているが、物騒な兵役など止めて、介護で採用した方がはるかに平和的で、社会のために有益だ。

●年金問題と労働者党の立場——極端な年金格差の一掃が焦眉の課題
参院選の直前、いまの「標準家族」がもう30年も生きると、生活していくために2000万円も不足するという見通しを金融庁が公表し、大騒ぎになったが、我が党はまず年金制度の一本化と、根本的な年金格差を一掃するところから始めるべきと考える。民主党政権も年金制度の一本化と最低年金7万を主張したが、そんな矮小な政策さえ実行できなかった。

1991年の「年金制度の抜本的な改革」も、年金制度の一本化を謳い文句にしなが、それはただ国民年金を基礎年金に模様替えして、それを国民に及ぼすという「一本化」であり、厚生年金受給者には基礎年金に、所得比例部分を二階部分として繰り入れ上積みするものであったため、一本化、平等化にむしる逆行するものになっている。

その結果、今や1千万とも言える年金難民が全国津々浦々に存在し、生活保護の世帯や単身者は数百万を数えるほどである。真実の一本化と平等化は、国民年金と厚生年金の2大制度を解体し、退職の時期の所得に従ってではなく、別のより合理的で、単純な単一の基準によって年金額を決定すべきである、というのは、大企業の労働者と中小企業や非正規や女性労働者の労働の強度や長さにはそれほどの違いがあるとは思えないし、むしろ後者の方が上である可能性さえあるからである。

(略称)



非正規女性労働者のために



共産党 新左翼に反対して

【特定候補・伊藤恵子】非正規労働者として生き、た労働者党員として数十年活動。国政選挙に二回立候補、資本論研究に励み、労働価値論の神髄の理解では差別的に。議員としては権威者として、苦悩する女性労働者のために活動する決意

【林ひろよし】学生運動に参加、共産党に入党するが、官僚主義、日和見主義に反感、わずか半年で離党、新興の新左翼運動にもたちまち愛想をつかし、以来、翼連動にも反発し、一貫して独自の労働者解放の道を追う



労働者解放めざした教師



愛媛で労働運動に献身

【菊池里志】大学時代、労働者解放の理想に目覚め、神奈川県の高専で社会科教師として生きながら組合運動に参加、また労働者党の一員として神奈川の闘いを支えてきた長年の活動家。教育的に思考する誠実な活動家

【吉村ふみお】労働者地域で長年労働運動に加わり、組合運動の指導者としても人々から絶大な信頼を得て活動家。国会に出ていけば、貧しい労働者や女性労働者の味方としてこれほどの強力な助っ人はいない

労働の解放をめざす労働者党

連絡先 東京都練馬区春日町1-11-12の409